

今回は、これから論文を書く人向けに、「資料の探し方」をアドバイス！
「複数の参考文献一覧から探す」と、「最初に何を読むべきか」の2本立てです。
初めて研究に取り組む人にも、一步を踏み出すヒントが詰まっているよ。



資料の探し方：複数の参考文献一覧から探す

卒論や卒研に取り掛かるとき、自分のテーマや問題意識に沿った先行研究を読む作業が必ず必要となります。先行研究を読むことの重要性については既出の本などで包括的に語られていますので、今回はより限定的で具体的な先行研究の探し方として、参考文献一覧からたどる方法を紹介します。

私は社会科学（国際関係論、あるいは国際政治学）を専門としています。おそらく他の人文・社会科学でも、もしかしたら自然科学でも同様であると予想しますが、1つのテーマに対して非常に様々なアプローチが存在し、論者によって立場も様々です。「果たして何を読めばよいのか」、「そのテーマに関する重要な研究は何か」。初めて自身の研究に取り掛かる際はこうした疑問を抱く人が多いと思います。（私自身そうでした。）

最初に述べたように、先行研究探しの1つの方法は、先行研究の参考文献リストからたどるというやり方です。いくつかの先行研究を読んでいるうちに、それらで共通して引用されている文献に出会うことがあると思います。大雑把に言えば、引用されている回数（被引用回数）※が多いほど、その研究が重要だと認められているということになります。重要であろう文献を先行研究の参考文献リストから見つけだし、そうした文献を読み進めていくことで、そのテーマについての体系的な知識や議論を把握することにつながります。

以上に述べたことは確かにそうだととしても、「そもそも最初に何を読めばいいのか」という点でつまづく場合もあると思います。これについては、例えば指導教員の先生やゼミの先輩に質問してみたり、そのテーマについて書かれたなるべく新しい教科書や専門書を読んだり、そのテーマを扱っている学会誌に掲載されている論文を読んだりすると良いかと思います。この点について、次にお話しします。

（裏面に続く。）

※ 被引用回数（被引用件数）とは、その論文がどれだけ他の論文に引用されているかを示す数値で、一般的に論文の重要度を示す指標とされています。被引用件数だけで論文の重要度を測るのは難しいのですが、どの論文を読めばいいか悩んだときには参考になりますね。



資料の探し方：最初に何を読むべきか

先ほど述べたとおり、卒論やレポートを書く際、自分の興味関心やテーマを決めた後に先行研究を読むことになります。しかし、特に卒論においては、「いったい何から読めばいいのかわからない」という状態になることが少なからずあると思います。こうしたときにどうすればよいのでしょうか？

まず1つ目の対処法は、ゼミ・研究室の指導教員や先輩に質問するという方法です。自分自身のテーマについて、先生や先輩が詳しく知っていると思いますので、まずはこうした人たちに聞いてみてはどうでしょうか。最低限読んでおくべき重要文献のタイトルや、その分野における有名な研究者の名前を教えてもらえるかもしれません。

2つ目の方法は、テーマに関するなるべく最近の教科書や専門書を探すというやり方です。教科書は広く浅くその分野に関する議論や手法をまとめているでしょうし、専門書は雑誌論文より紙幅がある分包括的にその分野やテーマに関して記述されていると思われます（もちろん例外はあります）。最初に何を読むか迷った際、教科書や専門書は助けになると考えられます。

3つ目の方法は、自分の興味関心のあるテーマについて取り扱った学会誌に掲載されている論文を探すという方法です。特に、査読された論文を優先的に探すようにすると良いでしょう。査読とは他の研究者によるチェックであり、査読を通った論文は、その内容がある程度保証されていると考えることができます（これも例外はあります）。

以上の3つのやり方がすべてではないですし、どれかが完璧という訳でもありません。テーマに応じて最初に読む研究の探し方は違うでしょうし、いろんなやり方があるはずです。しかし、もしどうすればいいのか迷ったときは、一度上記3つのアプローチを組み合わせると文献を探してみると良いのではないかと思います。

文責：WATANABE（国際（政策））



本や論文の探し方は、図書館の講習会で学ぶこともできます。講習会の予定は、日程が近づいたら Web ページでお知らせしますので、是非チェックしてみてくださいね！

筑波大学附属図書館 「講習会予定表」

<https://www.tulips.tsukuba.ac.jp/lib/ja/support/guidance>

